

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和03年01月26日

計画の名称	公共下水道の防災対策（防災・安全）													
計画の期間	令和03年度～令和06年度（4年間）								重点配分対象の該当					
交付対象	富士宮市													
計画の目標	公共下水道施設の耐震化、老朽化対策を行うことにより、災害に強い安全なまちづくりをめざす。													
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		437	A	437	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

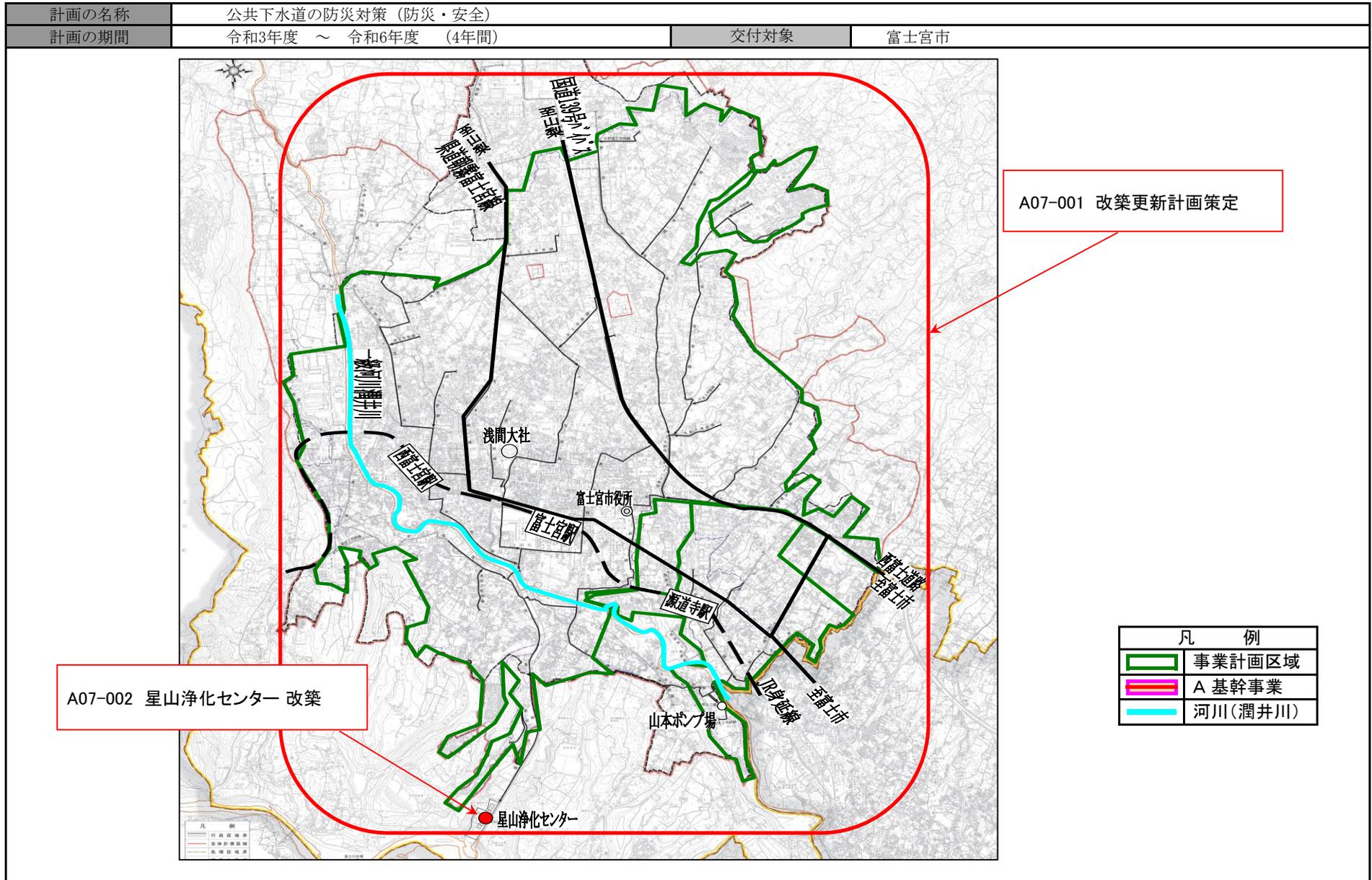
番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R3当初)	中間目標値 (R4末)	最終目標値 (R6末)
1	ストックマネジメント計画に基づく改築更新計画策定 策定率 = 点検箇所数 9,000箇所、点検調査結果に基づく改築更新計画策定	17%	59%	100%
2	星山浄化センターのストックマネジメント計画に基づく改築更新 改築率 = 改築計画（4年間）に対して改築が終了した箇所 管理本館棟、汚泥処理棟、火災害防止設備、井戸ポンプ	0%	25%	100%

備考等	個別施設計画を含む	<input type="radio"/>	国土強靱化を含む	<input type="radio"/>	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	-----------------------	----------	-----------------------	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R03	R04	R05	R06	R07			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	富士宮市	直接	富士宮市	管渠(汚水)	改築	改築更新計画策定	管口カメラ点検・調査、計画作成	富士宮市						140		策定済
		ストックマネジメント																	
	A07-002	下水道	一般	富士宮市	直接	富士宮市	終末処理場	改築	星山浄化センター改築	建築物長寿命化、火災害防止設備更新、井戸ポンプ更新	富士宮市						297		策定済
		ストックマネジメント																	
											小計						437		
											合計						437		

(参考様式3) 参考図面 (防災・安全 交付金)



事前評価チェックシート

計画の名称： 公共下水道の防災対策（防災・安全）

事 前 評 価		チェック欄
I. 目標の妥当性	上位計画等との整合性	
	1) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性	地域の課題への対応	
	1) 地域の課題を踏まえて整備計画の目標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性	目標と定量的指標の整合性等	
	1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	目標と定量的指標の整合性等	
	2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	目標と定量的指標の整合性等	
	3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	目標と定量的指標の整合性等	
	4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	事業の効果	
	1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性	事業の効果	
	2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	地元の機運	
	1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性	地元の機運	
	2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性	円滑な事業執行の環境	
	1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性	円滑な事業執行の環境	
	2) 交付期間中の計画管理（モニタリング）を実施する予定である。	○
III. 計画の実現可能性	円滑な事業執行の環境	
	3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○